

2023年度 三菱ルームエアコン霧ヶ峰「Zシリーズ」発売
非接触で感情を推定し、気持ちに合わせて空気を整える、世界初の空調を実現



Zシリーズ (ピュアホワイト)

霧ヶ峰

emoco  tech
emotion conditioning technology by KIRIGAMINE

三菱電機株式会社は、ルームエアコン「霧ヶ峰」の新製品として、非接触で高精度に人の脈波を計測・解析し感情を推定する世界初^{※1}のバイタルセンサー「エモコアイ^{※2}」と従来の赤外線センサー「ムーブアイ mirA.I.+ (ミライプラス)」を組み合わせ、気持ちに合わせて空気を整える世界初^{※3}の空調「エモコテック^{※4}」を実現した「Zシリーズ」12機種を2023年2月に発売します。

- ※1 2022年9月6日時点、当社調べ。電子機器センサーの分野において、非接触で人の脈波を計測し、中枢神経（脳活動）と自律神経の状態を解析し、感情を推定する技術において
- ※2 非接触で高精度に人の脈波を計測し、独自のアルゴリズムにより「集中度」や「リラックス度」など、人の感情を推定し数値で見える化するバイタルセンサー
[参考資料] 2022年9月6日発表資料 <https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2022/0906.html>
- ※3 2022年11月1日現在、当社調べ。家庭用エアコンにおいて、室内にいる人の脈波を非接触で計測し、脈波から人の感情を推定し、空調によって気持ちの変化を促す技術において
- ※4 emotion conditioning technology を略した当社造語

近年、身体的・精神的・社会的に満たされることを指す概念「ウェルビーイング (Well-being)」を実現する製品、サービスが注目されています。当社は生活者のウェルビーイング実現、そして浸透する新しい生活様式とその変化に対応するため、生活シーンごとの気持ちに合わせて空気を整える新しい空調が必要と考え、今回の新製品を開発しました。

当社は今回、新搭載のバイタルセンサー「エモコアイ」と従来の赤外線センサー「ムーブアイ mirA.I.+」を組み合わせ、これまでの快適性と省エネ性の両立に加えて、気持ちに合わせて空気を整える空調を行う「エモコテック」を世界で初めて^{※3}実現しました。室温や体感温度、気流などを自動調整し、くつろぎやすい室内環境に整えるなど快適性を向上します。また、居住空間の使用用途が多様化しており、リビングはくつろぐ場所だけでなく、在宅ワークをする場所としても利用されています。当社調査^{※5}では在宅ワーク時にリビングで仕事をされている方が約6割でした。そのためリビングで集中する場面を想定し「フレッシュモード」を搭載。「フレッシュモード」を選択すると、「エモコアイ」がユーザーの集中度を推定し、最適な空調で集中しやすい室内環境を創出します。

省エネ性においては、2022年6月1日に施行された「2027年度を達成目標年度として策定した製造事業者等が目標年度に満たすべき省エネ基準^{※6}」を満たしています。

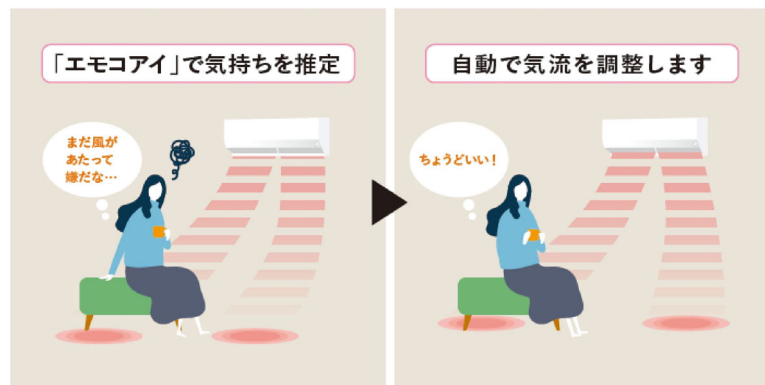
新製品の特長

1. 生活シーンごとの気持ちに合わせて空気を整える世界初「エモコテック」を実現

- ・非接触で高精度に人の脈波を計測し、独自のアルゴリズムにより人の感情を推定して数値で見える化するバイタルセンサー「エモコアイ」を新搭載。室温や体感温度などを検知し最適な空調を実現する赤外線センサー「ムーブアイ mirA.I.+」と組み合わせ、従来からの省エネで快適な空調に加えて、生活シーンごとの気持ちに合わせて空気を整える空調を行う「エモコテック」を世界で初めて※3実現
- ・居住空間の用途多様化に対応するため、「おまかせ A.I.自動運転」時に、くつろぎやすい室内環境をつくるだけでなく、集中したい時には、リモコンのセレクトボタンでモードを切り替えると、「エモコアイ」がユーザーの脈波を計測・解析し集中度を推定。集中力が低下していると判断すると、自動で室温調整や気流制御を行い集中しやすい室内環境を創出

<「おまかせ A.I.自動運転」の運転イメージ>

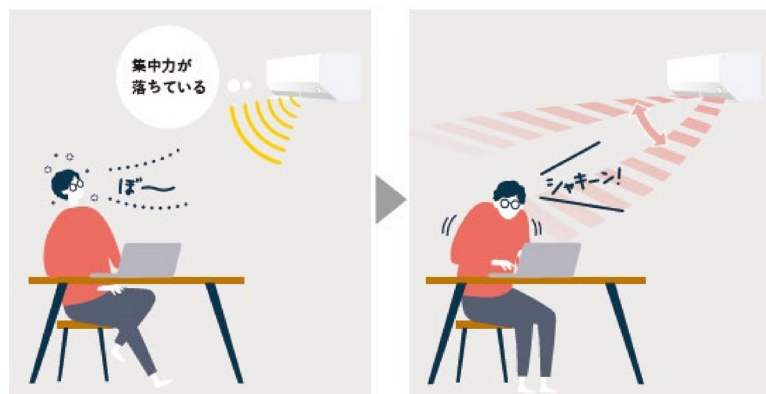
A.I.自動ボタンを押すと



くつろぎやすいよう風向を自動で調整。

<「フレッシュモード」の運転イメージ>

セレクトボタンを押せば切り替わります



集中しやすいよう室温を少し下げて運転。
エモコアイが、集中力が落ちていると判断すると
やさしく風をあてて集中しやすい室内環境をつくります。

2. 2027年度省エネ目標基準値を達成

- ・経済産業省が脱炭素社会実現を目指して策定し、2022年6月1日に施行された「2027年度を達成目標年度として策定した製造事業者等が目標年度に満たすべき省エネ基準」を、新製品12機種で達成